

日欧比較通じ、持続可能な酪農を考える 「国際比較研究会」を二部構成で今月開催

Jミルクは、2022年度の「酪農乳業の国際比較研究会」を下記の要領で開催します。今回のテーマは「酪農の持続可能性とネットワーク～ヨーロッパと日本を比較しながら～」。二部構成とし、動画配信による海外調査報告と、識者・専門家によるパネルディスカッション（対面・ウェブ併用）を予定しています。

本年度は、新型コロナウイルス禍で2年間休止していた海外調査を再開しました。その成果の報告を動画配信で行います。多くの方から意見や質問をいただきたくため、3月14日（火）から3月30日（木）まで、配信します。

パネルディスカッションは3月30日（木）に開催します。動画による報告内容を基に、寄せられた意見や質問も踏まえ、「次世代につなげる持続可能な酪農を形成するためにはどのようなネットワークづくりが求められるのか？」について、ヨーロッパと日本の取り組みを素材に比較検討します。

国際比較研究会は、2014年度から毎年開催しています。今回の概要は下記の通りです。

記

■日時

▽海外調査報告（動画配信）

2023年3月14日（火）～3月30日（木） ※動画配信のみ

▽パネルディスカッション（対面&オンライン）

2023年3月30日（木） 13:30～16:30

■パネルディスカッション会場

御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター WEST/Terrace Room

（東京都千代田区神田駿河台4丁目6）

※パネルディスカッションは、オンライン参加も可能です（zoomウェビナー）

■主催：一般社団法人Jミルク

■参加対象者：酪農乳業関係者、研究者、行政関係者、メディアなど

■参加費：無料

■申し込み期日：3月13日（月）

※パネルディスカッションの会場参加は、定員に達し次第、先着順で受付を終了する場合がございます。

あります。その場合は、オンライン参加のご案内をさせていただきます。あらかじめご了承ください。

■申し込み方法

下記の申し込みフォームからお願いいたします。

<Google フォーム>

<https://forms.gle/LQ41s4Ga9oXqR9R59>

※詳細は、Jミルクホームページ(<https://www.j-milk.jp/gyokai/seminar/ifcn2022.html>)をご覧ください。

【プログラム (予定)】

1. 海外調査報告 (動画配信のみ) 2023年3月14日(火)～3月30日(木)
 - ①「酪農家は経営の“厳しさ”に対し、どのように向き合っているのか？」
報告者：全国酪農業協同組合連合会 企画管理部長 丹戸 靖氏
 - ②「環境対応と酪農経営の進路 —オランダでは、どのように“地域”を再構築したか」
報告者：秋田県立大学 生物資源科学部 教授 岡田 直樹氏
 - ③「教育でつなぐ・つながる酪農家と市民 —英国生産者団体の取り組み」
報告者：高知大学 教育研究部 人文社会科学系 教育学部門 准教授 柴 英里氏
 - ④「農業関連団体や乳業メーカーは地域に酪農を残すために何をしている？」
報告者：名古屋大学大学院 生命農学研究科 准教授 竹下 広宣氏
※配信順は前後する可能性があります。
2. パネルディスカッション (対面&オンライン) 2023年3月30日(木)
テーマ：「日本型持続的酪農を考える」
論点提起：福島大学 農学群 食農学類長 教授 生源寺 眞一氏
登壇者：
<モデレーター>
生源寺 眞一氏 (福島大学農学群食農学類長教授)
<パネリスト>
藤田 毅氏 (株式会社藤田牧場代表取締役)
吉澤 文治郎氏 (ひまわり乳業株式会社代表取締役社長)
海外調査報告者 4 氏
3. オンデマンド配信
3月30日のパネルディスカッションを後日オンデマンド配信します。
※事前申し込みしていただいた方にオンデマンド配信の URL を連絡します。
【配信期間 (予定)】2023年3月31日(金)～4月14日(金)

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
国際グループ 折原、岡島
東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 5 階
電話：03-5577-7495